

# これからの学びを支える学校ICT環境整備の実現に向けたイメージ

## 【当面の目標】

1日に1～2コマ、授業展開に応じて必要な時に「1人1台環境」で、デジタル教科書やAI技術を活用したドリル等のデジタル教材を活用

可能な限り早急に  
国家プロジェクトとして



令和の学校のスタンダードとして  
ハード・ソフトの両面から

全ての授業で「1人1台環境」でデジタル教科書をはじめとするデジタルコンテンツをフルに活用、教師の指導や児童生徒の学びを支援する観点から学習ログを活用  
(多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、個別最適化された学びの実現)

| 2019年度<br>(令和元年度)   | 2020年度<br>(令和2年度)   | 2021年度<br>(令和3年度)   | 2022年度<br>(令和4年度)   | 2023年度<br>(令和5年度)   | 2024年度<br>(令和6年度)                              |
|---|---|---|---|---|--|
| <p>新時代の学びを支える先端技術活用推進方策<br/>全国学力・学習状況調査 中学校英語調査<br/>(「話すこと」調査をCBTで実施)<br/>学習者用デジタル教科書の制度化</p> <p>ICT機器等の標準仕様の提示</p>                         | <p>小学校デジタル教科書の導入拡大<br/>小学校新学習指導要領の実施<br/>(プログラミング教育の必修化など)</p> <p>教育データの標準化</p> | <p>デジタル教科書の在り方について方向性の提示<br/>先端技術活用ガイドラインの策定</p> <p>中学校デジタル教科書の導入拡大<br/>中学校新学習指導要領の実施<br/>(技術・家庭科(技術分野)でプログラミングの内容充実など)</p> | <p>高等学校デジタル教科書の導入拡大<br/>高等学校新学習指導要領(年次進行)<br/>(情報1の必修化など)</p> | <p>全国学力・学習状況調査 中学校英語調査<br/>(高速通信ネットワークなどICT環境の整備状況を踏まえつつ、「話すこと」調査のCBTでの実施を検討)</p> <p>遠隔教育を実施したいが、できていない学校をゼロに</p> | <p>小学校改訂教科書使用開始<br/>(改訂を契機としたデジタル教科書の本格導入)</p> |
| <p>GIGAスクール構想<br/>(校内ネットワーク、小中学校の学習者用端末3人に2台分など)</p>  |   |   | <p>※ 遠隔教育の普及、防災・地域活性化にも貢献</p>                                 |   |  |
| <p>教育のICT化に向けた環境整備5か年計画(学習者用端末3人に1台分など)</p>   |   |   |   | <p>※ 新たな「教育ICT化環境整備計画」の策定</p>   |  |
| <p>遠隔・オンライン教育、デジタル教科書・教材、統合型校務支援システム、学習ログの活用促進、<br/>学習の定着度合いを把握する手段として、CBTをはじめとしたICTの活用促進<br/>これらに必要な教員養成・研修や指導体制の充実、専門的人材の確保、外部人材の参画促進</p> |   |   |   |   |  |